



無人購買

郷原中学校では、今年度五年ぶりに「無人購買」を復活させた。そこには、文房具等が並べられてあり、係員がなくても決まったお金を入れ物に支払い購入する仕組みである。

昭和四十七年、郷原中学校では、男子生徒の髪型は全員丸刈り、女子生徒はいわゆるおかつぱ。他の中学校では単一の髪型ではない状況が進む中、本校ではなお、単一の髪型となっていた。当時の生徒会長はその状況を何とかしたいと、周りの仲間たちと話し合い、先生方に相談した。しかし、先生方からは、期待通りの回答は返ってこなかった。

生徒会執行部は生徒に対し全員が自主自律のある行動が取れるようになれば、先生方の理解も得られるのではないかと投げかけた。そうなれば、髪型についても単一のものではなく、多少は認められるはずである。まずは「ノーチャイム」による迅速な行動や「無人購買」に取り組み、先生方の信頼を得ようということになった。

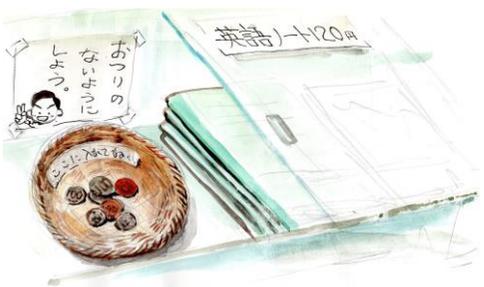
この取組は見事に成功した。この結果、生徒は髪型をある程度選べるようになった。女子はいわゆるおかつぱではなく結びさえすれば、長くすることも許されたし、男子も丸刈りをしなくてもよくなった。

誰も見ていない状況の中で商品が売り買いされることが、郷原中の生徒の当たり前となり、「無人購買」は郷原中の伝統となった。それから年月が経ち、いつの間にか同校は落ち着かない状況となり「ノーチャイム」や「無人購買」もなかなかうまくいかなかった。始業や掃除の時間など、自分たちで時間を見て行動することも出来なくなっていた。

無人購買でも金額の合わないことが起こった。当時の生徒会執行部は直ちに全校集会をもち、全員に呼びかけた。自分たちでやり始

めたことを何とか自分たちで解決しようとは何度も話し合った。執行部は全校集会で生徒に呼びかけ「無人購買」の意味を訴えた。そして「もう一度やろう！みんなの力でやりとげよう」と、呼びかけた。しかし、何度集会をしても何日かすると、金額が合わないことが起こるの繰り返しであった。

このようなことから結局、三十二年間続いた「無人購買」の歴史は途絶えることとなった。



こうして途切れた「無人購買」であったが、平成二十一年、学生会執行部が、公約にも掲げた「無人購買」復活に向けて動きだしていた。かつて、執行部の必死な訴えにもかかわらず廃止を余儀なくされた「無人購買」を復活させることがどれだけ大変なのかは、分かっているつもりであった。それでも、復活に向けてのアンケートで、「成功しない」と答えた生徒が多い等、復活は多難であった。

そうして迎えた生徒総会。生徒会長が全校生徒に呼びかけた。「一度途絶えた『無人購買』を自分たちで復活させたい。復活に自信が持てない人がいる、こんなときだからこそ、やる意味がある。そして、もう一度、この郷原中の新たな伝統としてスタートさせたい。」

熱い思いに押されるように、最後には全員の拍手で承認された。そしてついに、七月六日、「無人購買」は復活した。